

遠隔授業「土質力学」のご案内（G-CPD ポイント対象）

このたび東北支部では、地盤技術者等を対象に「土質力学」の遠隔授業を実施いたします。

東北支部所属の大学、高専教員が講師を務め、実際に大学で行われている授業をベースにポイントを押さえた授業を行います。「すでに大学や高専等で土質力学を学んだが最新の土質力学を勉強したい」、「もともと地盤分野ではなかったが仕事の関係で土質力学の知見が必要になった」という方のお役に立てるものと考えております。また、今年は新型コロナウイルスの感染拡大により CPD ポイントを取得する機会が減少しています。本授業は G-CPD ポイント対象となっておりますので、ご活用いただければ幸甚です。講師一同、多くの皆様の受講をお待ちしております。

主 催： 公益社団法人 地盤工学会東北支部

科 目： 土質力学（初級レベル、テキストの準備は必要ありません）

日 程： 毎週水曜日 16:30～18:00（90分）、全 10 回、2020 年 10月14日（水）～12月16日（水）
の期間で実施。詳しくは、開講予定表をご参照ください。

開催形式：Zoom ウェビナーによる「リアルタイム型」配信

参加費： 会員：10,000円 非会員：15,000円 いずれも全 10 回分

※ 参加費については、全 10 回の一括申込のみとさせていただきます。全ての回の受講を求めるものではありませんが、欠席の場合の返金はいたしかねます。

「会員」には、地盤工学会の正会員（個人）、特別会員（法人・団体）の所属者、国際会員（個人・法人・団体）、および東北支部賛助団体に所属する個人を含みます。

申込方法：2020 年 10 月 13 日（火）までに、下記ホームページ掲載の方法でお申込みください。

<https://jgs-tohoku.org/academic/kenkyu/online2020.html>

問合先： 地盤工学会東北支部

〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-5-1 オーク仙台ビル

Tel：022-711-6033 Fax：022-263-8363

E-mail：jgsb-th@tohokushibu.jp

G-CPD ポイント付与数：

1 回 1.5 ポイント × 10 回 = 全 15 ポイント（ポイント申請中、9 月 10 日時点）

G-CPD は出席回数に応じて付与いたします。

その他： G-CPD を申請予定の方は、受講エビデンスとして、受講後に演習の解答の提出が求められます。

受講者のカメラは OFF に設定されますので、場所（カメラ背景）を気にせず参加いただけます。

2020年度遠隔授業「土質力学」開講予定表

回	開講日	時間	テーマ	内容	講師
1	10/14(水)	16:30 ～ 18:00	土の基本的性質	土の成因、土の粒度、土のコンシステンシー限界、土の工学的分類、土の物理的諸量	仙頭紀明（日本大学）
2	10/21(水)		透 水	土中水の種類、ダルシーの法則と透水係数、透水速度、流線網による透水解析	大河原正文（岩手大学）
3	10/29(木)		土の締固め	締固めとは、締固め試験、締め固めた土の評価、締め固め試験演習問題	山口 晶（東北学院大学）
4	11/4(水)		地盤内応力	載荷重による地盤内応力増分、全応力・有効応力と自重による地盤内応力	山添誠隆（秋田高専）
5	11/11(水)		圧 密	圧密現象、圧密沈下量、圧密時間、圧密試験	山添誠隆（秋田高専）
6	11/18(水)		せん断	摩擦、モール・クーロンの破壊基準、 c と ϕ 、状況に応じた c と ϕ の選択、有効応力経路の考え方	飛田善雄（東北学院大学）
7	11/25(水)		土 圧	土圧の考え方、壁体の変位と土圧、ランキン土圧、クーロン土圧、地震時土圧	風間基樹（東北大学）
8	12/2(水)		支持力	基礎の種類、浅い基礎の支持力、深い基礎の支持力、群杭効果、ネガティブフリクション	荻野俊寛（秋田大学）
9	12/9(水)		斜面安定	斜面の安定解析、安全率の考え方	大河原正文（岩手大学）
10	12/16(水)		液状化	液状化被害、液状化のメカニズム、液状化しやすい土質、液状化の予測、液状化対策	風間基樹（東北大学）

- ・授業は、毎週水曜日 16:30～18:00（90分）に行います。10/29のみ木曜日となっておりますのでご注意ください。
- ・授業の最後に簡単な問題が出題されますので電卓をご準備下さい。
- ・質疑応答もできますが詳細は申込後にお送りする受講案内をご覧ください。